



◆6月のCP市場動向

6月末のCP市場残高は24兆7,475億円で前月末比△1兆4,707億円減少した。前年同月比では2兆3,210億円の増加となった。発行市場は、月前半から中盤にかけて、円安進行や原材料・エネルギー高等に加え、一部企業においては社債市況の悪化に伴う起債の見送り、延期を背景に、幅広い業種で活発な発行が行われ、6月27日に市場残高が28兆225億円となり、日次ベースでの過去最高を更新した。月末にかけては期末の有利子負債圧縮の動きにより、市場残高が減少した。業種別残高では、一般事業法人が10兆1,051億円（前月比△9,678億円）、その他金融が9兆9,309億円（同△8,859億円）とそれぞれ減少した。一方、金融機関が2兆9,720億円（前月比+2,556億円）、ABCPは1兆7,395億円（同+1,274億円）とそれぞれ増加した。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出合いが中心となった。

【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	6月末残高	5月末残高	増 減
一般事業法人	101,051	110,729	-9,678
その他金融	99,309	108,168	-8,859
金融機関	29,720	27,164	2,556
政府系金融	0	0	0
銀行等	7,099	7,109	-10
証 券	22,621	20,055	2,566
A B C P	17,395	16,121	1,274
計	247,475	262,182	-14,707

(注：買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

格 付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+（一般事業法人）	—— ～ 0.000%	—— ～ 0.000%	-0.0001% ～ 0.000%
a-1（一般事業法人）	-0.001% ～ 0.000%	-0.004% ～ 0.001%	-0.001% ～ 0.015%
a-1+（リース銘柄）	—— ～ 0.000%	—— ～ ——	—— ～ ——
a-1（リース銘柄）	—— ～ ——	—— ～ ——	-0.001% ～ 0.010%
a-2	0.025% ～ 0.070%	0.030% ～ 0.140%	0.030% ～ 0.220%

「CP 等買入オペ」

CP 等買入オペは、当初予定通り 2 回の合計 8,000 億円で実施された。9 日オファー分の結果は、応札額 8,201 億円、按分レート Δ 0.001%（平均レート 0.005%）、26 日オファー分は、応札額 1 兆 1,781 億円、按分レート Δ 0.001%（平均レート 0.009%）となり、按分レートは引き続きマイナス圏を保ったが、平均レートは 5 月 26 日オファー分で 2 年 1 か月ぶりにプラス圏入りして以降、各回とも前回比で上昇した。
なお、買入オペ残高は 6 月末時点で 2 兆 7,041 億円となっている。

【CP 等買入オペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
6月9日	6月14日	4,000	8,201	3,965	-0.001%	0.005%	53.8%
6月27日	6月30日	4,000	11,781	3,984	-0.001%	0.009%	17.5%

「ABCP」

ABCPは、1兆7,395億円と前月比1,274億円の増加、前年同月比では22億円の減少であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、6月末時点における発行登録企業数は1社増の545社であった。
新規登録：ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア

「CP 現先市場」

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、 Δ 0.05%～0%近辺での出会いとなっていた。

◆7月のCP市場動向

7月のCP発行市場は、期明けの一般事業法人の発行再開と、引き続き、燃料費高や円安の進行、社債起債の難化等を背景としたCPでの資金確保の動きから、積極的な発行が見込まれる。既に、5日時点で26兆2,529億円と、6月末の市場残高から1兆5,054億円の増加となっている。発行レートは、市場残高の増加により、浅いマイナスから若干のプラスレートでの出会いが中心となることを予想する。

「CP 等買入オペ」

CP等買入オペは、8日と26日でそれぞれ4,000億円、合計8,000億円のオファー予定となっている。CP市場残高は円安の進行や原料費高の影響により事業法人の資金調達ニーズが旺盛であり、7月も高水準にて推移することが予想され、ディーラーによるオペ売却ニーズも底堅い。足切りレートは前回比横ばい圏内を予想する。

「CP 現先市場」

CP 現先レートは、 Δ 0.05%～0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【6月末発行残高 上位 10 社】

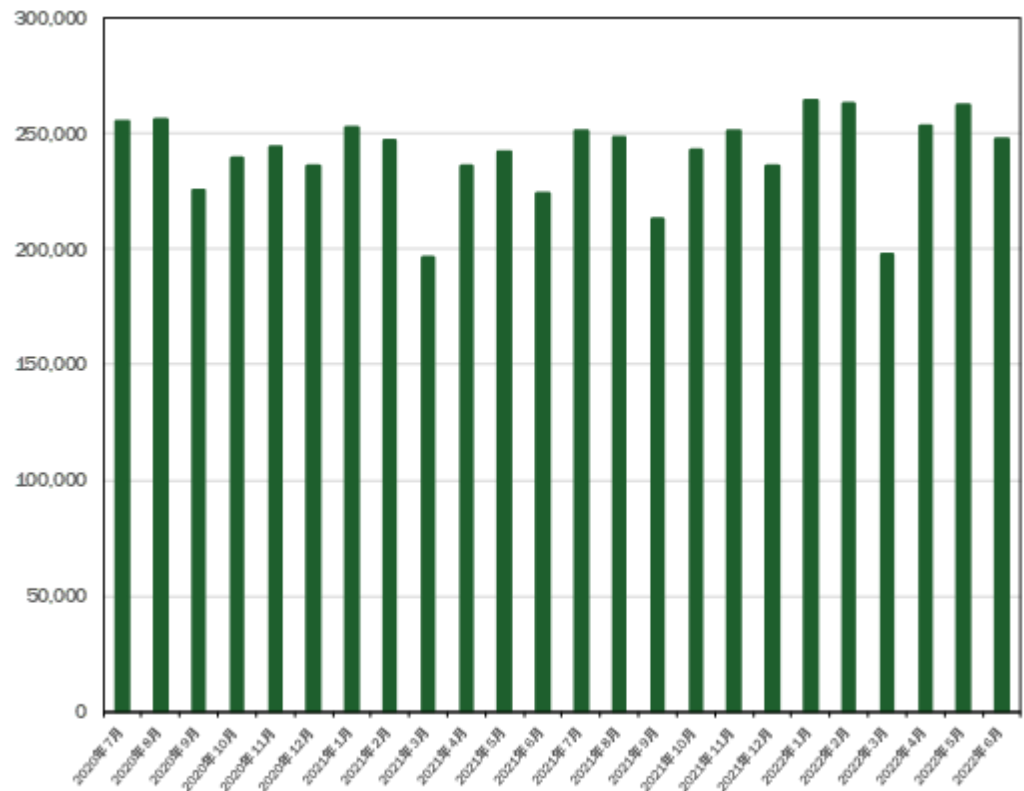
(単位：億円)

	発 行 企 業 名	6月末残高	5月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,957	9,847
2	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	8,013	7,629
3	NTT・TCリース株式会社	7,890	7,760
4	三菱HCキャピタル株式会社	6,820	6,705
5	NTTファイナンス株式会社	6,060	15,060
6	みずほリース株式会社	5,728	5,768
7	ENEOSホールディングス株式会社	5,720	5,880
8	株式会社クレディセゾン	5,010	5,170
9	株式会社 J E R A	4,920	3,910
10	J A三井リース株式会社	4,910	4,570

【短期社債市場残高】

(2020 年 7 月～2022 年 6 月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会